

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

事業年度末の市場価格(時価)により評価する基準を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	90,052,491	△ 49,999,467		40,053,024
第四北越証券預り金	0	40,639,397		40,639,397
投資有価証券	1,155,000,000	139,541,000	0	1,294,541,000
小計	1,245,052,491	130,180,930	0	1,375,233,421
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	1,245,052,491	130,180,930	0	1,375,233,421

4. 基本財産及び特定資産の財源の内訳

基本財産及び特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	40,053,024	40,053,024	0	0
第四北越証券預り金	40,639,397	40,639,397		
投資有価証券	1,294,541,000	1,294,541,000	0	0
小計	1,375,233,421	1,375,233,421	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	1,375,233,421	1,375,233,421	0	0